

事業評価書

補助事業名	三沢飛行場等関連特定事業（教育、スポーツ及び文化に関する事業：三沢市立図書館管理運営業務事業）			
補助事業者名	三沢市長 小檜山 吉紀			
実施場所	三沢市桜町一丁目 5 番 4 3 号			
補助事業の成果の目標	<p>三沢市立図書館は、地域住民の教育と文化の発展を目的に昭和 57 年に設置され、三沢市公会堂と並び、長年にわたり地域住民に愛され、親しまれている文化施設である。</p> <p>本施設では民間活力の導入によるサービス向上を目指し、平成 20 年度から指定管理者による施設管理を行っており、司書等の専門的知識を有する管理者が幼児や児童を対象にした“語り聞かせ事業”、小中学生を対象にした書籍を活用して自ら考える力を伸ばす、“調べる学習コンクール”といった多様な事業を展開している一方、施設の老朽化などにより維持管理経費が増加するとともに、電子書籍の普及により利用者数も減少傾向にあることから、サービスの多様化も求められているところである。</p> <p>このことから、調整交付金の充当により、地域住民に愛される図書館事業を継続し、地域住民の活用や利用満足度の向上を目指しつつ、地域住民の豊かな人生の増進を図るものである。</p>			
補助事業の内容	三沢市立図書館管理運営業務 一式			
補助事業の始期及び終期	令和 4 年度			
事業費及び交付金額		令和 4 年度		計
	事業費	円 19,803,773		円 19,803,773
	交付金額	16,000,000		16,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【成果】教育委員会・県立三沢航空科学館と連携した調べ学習「みさわわくわくサマーゼミナール」や三沢市教育委員会所属の ALT 講師による「英語で読み聞かせ」などの事業を展開することにより、読書機会や図書を活用した学習機会を提供できた。利用者は、前年度より増加し（前年度：51,020 人→R4 年度：61,365 人）、貸出冊数も増加した（前年度：71,118 冊→R4 年度：82,127 冊）。</p> <p>【評価】施設利用者に対し、施設・設備・資料・サービス・接遇等についての利用満足度についてアンケート調査を行った結果、「満足」「やや満足」と回答した割合が 75%であり、利用満足度が高いことが分かった。特に接遇や資料展示に対する評価が高いことが、利用者の増加につながっていると考えられる。</p> <p>また、令和 4 年 10 月より、セルフ貸出機の導入や、図書館ウェブサイトからの貸出期間延長手続きを可能としたことから、今後も利用者へのサービスの周知を続けることで、利用満足度は更に高くなるものと考えられる。</p> <p>電子図書館サービスの登録者数は増加（前年度：149 人→R4 年度：194 人）しており、来館せずに本の貸し借りができる、図書館の閉館時間にも利用することができる等のメリットについて、今後とも周知を継続するとともに、更なるサービスの拡充を行い、地域住民の利用満足度の向上を目指す。</p>			

	【周知の実施状況】ウェブサイトや市広報紙などで調整交付金事業である旨を掲載した。
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民の生活環境を維持し、適正な維持管理を実施する。
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無